



滋賀短期大学 学 報

2021. 3. 1

No. 88

CONTENTS

【学長メッセージ／P2】

【特集1／P3】

栄えある文部科学大臣表彰受章 ほか

【特集2／P4】

新型コロナ禍における遠隔授業の取り組みについて
コロナ禍の下での授業実施状況について

【学外実習報告／P5～7】

【純美禮祭を終えて／P8】

【絵本コンクール、高大連携講座／P9】

【学内情報／P10～12】

令和元年度決算・財務状況報告、保健室だより
短期大学行事等開催状況 ほか



令和2年4月に、滋賀短期大学附属すみれ保育園が開園しました。四季折々の自然に囲まれた保育環境の中で、心技一如を保育理念とし、心の育ちと実学(体験)の豊かさを神髄とした「生活(遊び)から学びへ、学びを生活へ」と子どもの主体性を尊重した保育を展開し、夢や意欲をもって自分の生活を創り出す子どもを育てています。

短期大学の学生たちは、保育実習や給食管理実習など保育現場実習先として研鑽を積んでいます。



滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 紀要・図書委員会

電話(077)524-3605

ホームページアドレス <https://www.sumire.ac.jp/tandai/>



アフターコロナの大学

滋賀短期大学学長 秋山 元秀

令和2年はコロナで始まりコロナで終わりました。前回の学報でもコロナの感染のことを書きましたが、まだまだコロナ騒動はおさまりそうにありません。コロナという裸の王様には早く退場してほしいといいましたが、まだ居座ったままどころか、いつ退散してくれるのか見通しがつきません。実は全国の大学の多くが、今でも一定程度、オンラインで授業しているのが現状です。しかし本学は、4月から5月は全面的にオンラインも使った遠隔講義の形をとりましたが、6月からは一部の対面授業を始めました。その後一教室の人数や感染予防のための席の配置、また飛沫防止の設備など、必要な措置はとったうえで、後期はほぼ全部の授業を教室で行っています。

オンラインによる授業もプラスの面がありましたし、これからの授業のありかたで参考にすべき点多々ありました。しかし2年しかない短期大学で、半年間、登校できない状態が続くのは避けたいと思っていました。そんな中、『全私学新聞』（7月13日発行）に「遠隔授業の功罪—豊かな触れ合いもつ教育取り戻したい」と題した一文を書く機会がありました。その中で私が提起したかったのは、入学してきたばかりの新入生たちが、教員に出会うこともなく、友達をつくることもなく、家にいてスマホやパソコンの画面だけを通じて大学と結ばれているような状態のままでいいのかという問題でした。そこでこの一文の最後に「あえて誤解を恐れずに言えば、教育というのは「濃密接触」によってこそ実現できるものであるし、人間同士の感触を通じて始めて伝わっていくものではないのか。」と述べてみました。

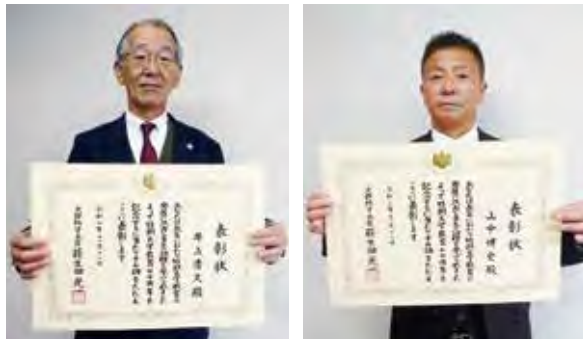
東京や大阪のような大都会ではなく、本学くらいの規模だからそんなことがいえるのだ、と言われるかもしれませんが、教職員が一丸となって姿の見えない禍に立ち向かい、学生たちがよりよい学園生活をおくれるように努力

しようという姿勢がないと、今日までの体制は維持できなかったと思います。実際にこの原稿を書いているのは、今年度の学園祭すみれ祭が終わった直後です。今年度は入場を制限したり、一部のプログラムをオンラインにしたりするなど、変則的な開催ではありましたが、たくさんの在校生が集まり、楽しく一日を過ごしたようです。まもなく卒業する人も、はじめて学園祭に参加する新入生もよい思い出ができたことを願うばかりです。

しかし世界全体をまきこんだコロナ禍もいつまでも続くわけではありません。それがいつかは現時点でははっきりしていませんが、問題はその後の大学はどうなるのか、コロナ前に戻ってそのままでもいいのかということです。先述のように、今回の遠隔授業の経験から学ぶことは多々ありました。本学でもネットワーク関連の設備を充実させる計画をたてていますし、個々の学生諸君の情報化に対応するスキルの向上も考える必要があります。しかしもっと大きな社会の構造的な変化が起こっていったとき、大学がどのようにその変化に対応するのが一番重要な課題になってくると思われます。

たとえば今回、多くの会社で勤務の仕方を変えたようですが、それが単に一時的なものなのか、これからの新しい社会での仕事の仕方の変化につながるのか、見極めていかなければいけないでしょう。それは会社での勤務のあり方だけではなく、家庭のあり方、人間関係のあり方など、いろいろなところに関係してきます。そのような変化がある時に、大学はどういう対応ができるのか、問われるようになると思います。新しい社会のあり方に即した大学が求められた時、本学はどう対応するのか。今、本学では創立50周年を機会に、学科やコースの再編を検討しています。次の学報ではその内容をご報告できと思っています。これからも一層のご支援をお願いします。

栄えある文部科学大臣表彰受章



2020年は、短期大学制度発足70周年の記念すべき年に当たります。文部科学省は、これを記念して短期大学教育に長く従事し、特にその功績が顕著な者の表彰を行いました。本学園からは、井上清久理事（法人本部事務局長）並びに山中博史教授（学長補佐）のお二人に令和2年11月12日、文部科学大臣から表彰状が授与されました。

このことは学園関係者にとりまして大変名誉なことであり、この上ない喜びであります。両先生の今後のご健勝をお祈りするとともに心からお祝い申し上げます。

専門フードスペシャリスト表彰者 ご紹介

令和元年度専門フードスペシャリスト資格試験結果において、生活学科 製菓・製パンコース 小澤共加さんが食品の流通・サービス部門で全国(1位)最優秀賞、食品開発部門で食健康コース 内藤幸子さん(4位)鈴木香澄さん(7位)が優秀賞の好成績をおさめ、表彰されました。



同窓会設立50周年記念行事にむけて

副会長 山本 幸恵

同窓会会員の皆様、教職員の皆様には平素より同窓会活動にご協力いただきありがとうございます。本年は、新型コロナウィルスの猛威により生活が大きく変化しました。私たちが、潤いのある生活をするのにかかせない、コミュニケーションの機会を奪われてしまったことに不安と淋しさを感じています。

今年度の総会については、10月21日に役員のみで審議のうえすべての議事について可決承認されましたことをご報告いたします。

1年に1度の、同窓生が集う時間を楽しみにしていただきた方には申し訳なく、また残念なことでした。

令和4年（2022年）3月には、同窓会設立50周年を迎えます。先の学報で、告知させていただきました「令和3年度総会・同窓会設立50周年記念講演・祝賀会」について、皆さまをお迎えし盛大に開催するべく、役員一同準備を進めてきましたが、11月末現在において新型コロナの第3波感染拡大となっていることから、1年延期させていただくことになりました。

滋賀女子短期大学～滋賀短期大学の50年の歴史を共にする同窓生の皆さまと必ずお会いしてお祝いできる日がくることを願い、令和4年の開催にむけて引き続き準備を進めて参ります。

また、短期大学は令和2年に創立50年を迎えました。同窓会からは記念品に代えて、全館Wi-Fi設備資金の一部として金500万円を寄付させていただきます。特に近年はコロナの影響によるオンライン授業、各種手続きのオンライン化などインターネットが欠かせない状況になっていることから、教職員、学生の皆様に広く喜ばれるものと考えました。12月7日には同窓会役員、関係職員の出席のもと高田会長より秋山学長に目録を贈呈させていただきました。



目録贈呈式の様子

新型コロナ禍における遠隔授業の取り組みについて

副学長 小山内 幸治

2020年4月7日に東京をはじめとした7都府県に新型コロナによる緊急事態宣言が宣言され、4月16日には、対象が全国に拡大されました。本学も大学を閉鎖し、状況を確認しながら、授業の方法について模索することとしました。この間、ICTを用いた遠隔授業の可能性が増したため、学生の家庭におけるインターネット接続状況、PC所持の状況、スマートフォンの契約データ量などを調査し、PCでもスマートフォンでも視聴可能な遠隔授業を行うことにしました。郵送による課題送付と提出などを含め、①大学のWEB上にあるポータルサイトでファイルにより課題を送受信、②Google ClassroomやYoutubeを用いたビデオ配信、③Google Meetを用いたリアルタイム配信、④課題の郵送によるやりとり、あるいはこれらの組み合わせで授業を行うことになりました。

これらがうまく運用されるように、学生には、大学からのE-Mailの連絡をスマホで即座に確認できるように設定してもらい、また、ポータルサイトの使用方法、Google Classroomの利用方法等をビデオ配信しました。

また、教員向けには、パワーポイントへの音声や動画の挿入、パワーポイントをビデオ化する方法、Youtubeへの投稿方法、Google Classroom、Meetの利用法などの解説ビデオを提供しました。

各教員は、教科の特性に合わせ、工夫することで遠隔での授業をスタートさせることができました。

スタート当初の授業方法の比率は、①オンラインによる教材配信：50授業：34.2%、②動画配信：41授業：28.1%、③リアルタイムオンライン授業：9授業：6.2%、④課題等の郵送：14授業：9.6%、⑤授業不可（後期に繰り越しや対面待ち）：32授業：21.9%でした。6月に一部の授業が対面式に移行しましたが、前期の間は遠隔中心の授業となりました。

前期終了後、学生に行った授業アンケートでは、ビデオ配信には復習などが容易なためか肯定的な意見が多く、リアルタイム配信は、ネット環境によって不具合が生じる場合もあるものの、実際の授業に近く、意欲的に取り組めたという意見がありました。新型コロナ禍の状況で、初めて経験する学習方式に戸惑いながらも、学生も教員もよく努力し、対面式授業にも劣らない学習成果を上げることができました。一方、学生の特性により、向いていない学生と向いている学生に2分されている状況もみえてきました。

リモートワークや遠隔学習が急速に広がったいま、新しい働き方、新しい学び方が提唱されています。大学としては、学生の目線に立って、これらに対応した教育が提供できるような体制と環境づくりを急ぐ必要があると感じています。

コロナ禍の下での授業実施状況について

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、教育現場にも大きな影響が生じ、令和2年度は慌ただしい年度の始まりとなりました。本学においては4月初めに入学式と健康診断、オリエンテーションを実施しましたが、4月7日に政府の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されたこともあって、前期の授業開始を延期しました。延期した期間には、まず教科書の手配を行い、学生には「授業課題」を郵送や学内ポータルを利用して送りました。前期授業は5月13日に開始しましたが、すべて非対面形式で、リアルタイムもしくは動画・教材配信のオンライン形式等で実施しました。当初は教員、学生ともかなりの戸惑いやプレッシャーがありましたが、双方の努力により、スムーズに授業が行えるようになりました。滋賀県内の感染動向を注視しながら、6月に入って、入構者チェック、検温チェック、三密の回避などの感染予防対策を講じた上で、実験・実習科目を中心に一部対面授業を始めました。その後、徐々に対面授業を増やし、前期終了時には授業の2/3を対面で行っていました。

後期になるとほとんどの授業を対面で実施しました。授業の一例を紹介しますと、生活学科では、調理実習等でクラスを2つに分け、フェイスガードとマスクを着用しながら調理台での密集を避けた少人数実習を行っています。幼児教育保育学科では、音楽の授業で教員と学生の間にパーテーション（透明フィルム）を設けてピアノレッスン等を行っています。また、ビジネスコミュニケーション学科の大人数授業においては、学生を2つの教室に分けて同時開講する方策を採っています。

令和3年度もウィズコロナの状況が続きそうですが、今後も対面方式を基本に遠隔授業の経験も活かしながら充実した授業を提供できるよう環境作りに努めてまいります。

（学務課）



生活学科
（一人1台の調理台での実習）



幼児教育保育学科
（教員と学生の間に仕切ったピアノ指導）



335教室（主会場）



326教室（正面はSA）

ビジネスコミュニケーション学科（2クラス同時授業）

生活学科 学外実習報告

学外実習報告会

栄養士学外実習報告会、製菓・製パンコースのインターンシップ報告会が、2020年10月15日(木)Ⅱ限に313教室、222教室にてそれぞれ実施されました。インターンシップ報告会は例年6月に行われますが、Covid-19感染防止のための自粛によって10月に行われました。



教育実習を通して

生活学科 食健康コース (2回生) 田中 あゆみ

守山市立河西小学校で栄養教諭の教育実習を行いました。

研究授業のテーマは「大豆の栄養について知ろう」です。児童の興味を引くために、クイズを取り入れ、視覚で考えられるような媒体を用いた授業を行いました。また、児童自身が理解や創造性を高められるように、考える時間を多く取るように工夫しました。その日の給食では、大豆からできている食べ物探しで盛り上がり、普段から給食を残しがちな子どもも積極的に食べようとする姿勢が見られました。教師としての目線で授業以外の時間に児童の様々な活動を見ながら、児童が何を学んでいるかどのような力を身に付けているかを発見することができ、学習面以外で子ども達が学ぶことの多さに感心しました。

実習最終日に受け取った児童からの手紙には、「苦手なものでも食べられるようになりました」と書かれたものもあり、とても嬉しく思いました。

実習を通し、教えることのやりがいを感じました。多くのことを伝えられるように、栄養士・栄養教諭としての学びを深めていきたいと思います。



栄養士学外実習を終えて

生活学科 食健康コース (2回生) 高畑 千尋

私は、浜大津保育園で実習をさせて頂きました。コロナウイルスの影響で、実習にいけるか不安でしたが、毎日の検温、行動の記録といった感染対策を行うことにより無事に実習へ行くことができました。実習は野菜の下処理、おやつ作り、食器洗浄、調理厨房内の掃除、私が作成した献立の給食提供を行いました。献立は、旬のいわしを使った「いわしの梅煮」とおやつ「青のりポテト」です。園児が食べやすいように梅を使っていわしの臭みを消してさっぱりとした味わいに仕上げました。園児や先生方に「おいしい」と言って食べてもらえたり、おかわりしてくれたので本当に嬉しかったです。提供時間に間に合うように約100食分をおいしく作らないといけないので、集中力を必要とする大変な作業でした。

指導して頂いた栄養士さん、調理師さんは、常に食べる人のことを考えて行動されていました。私も食べる人の気持ちを考えられる栄養士になりたいと思いました。実習で学んだことを忘れずに、就職先でも頑張りたいです。



幼児教育保育学科 学外実習報告

■ 教育実習を終えて

幼児教育保育学科 (2回生) 八木 茜

今回、地元の幼稚園で3週間の教育実習をさせていただきましたが、4歳児のクラスでの実習で、部分実習と全日実習の両方を経験させていただきました。今回の教育実習では、実習の集大成として自分なりに意図を持って、子どもとの関わり方を工夫したり、自ら積極的に行動したりすることができました。

部分実習では、制作活動で紙コップを使っての「おさいふ作り」をしました。活動中、保育者がどこまで準備しておくか、どこまで子どもたち自身にまかせるかが難しかったです。全日実習では、クラスの担任になるということの大変さを痛感しました。クラスの担任になるということは、「クラスの子どもたち全員を平等に観る」ということであり、実習生とは大きく異なると実感しました。難しさや大変さを感じた一方、保育の喜びや楽しさも味わうことが出来たので、とても良い経験でした。実習中は、園児たちが降園した後に研修会や預かり保育にも参加させていただいたり、教材準備のお手伝いをさせていただいたりしました。

幼稚園生活において、子どもたちがどのような姿に成長してほしいかということを明確にし、見通しを持って保育していくことが大切であること、また、一つ一つの活動の中にはたくさんの経験や学びが詰まっており、日々の積み重ねが子どもたちの生きる力の基礎になっていくのだということを3週間の教育実習を通して実感しました。



■ 初めての保育所実習を終えて

幼児教育保育学科 (1回生) 善山 心愛

今回の保育実習は主に観察実習でしたが、観察実習だったからこそ保育者や子どもたちとの関わりがしっかりと学べました。また、改めて保育者が子どもたちに注ぐ愛情を感じました。保育者と子どもたちとの関わりについては、「年齢によっても異なるが、全てを保育者が手助けをするのではなく、子どもたちで協力し、話し合う力を引き出していく。そこから子どもたちの自信や成長にも繋がっていく」とも教えていただき、子どもたち自身で考えながら活動することが大事であることを再認識することもできました。

園外の公園などに行く時はどんな危険があるか常に意識して行動することの大切さを学びましたが、自分自身が保育者となった時の行動についても知ることができました。また、今回お世話になった保育所は「食育指導」にも力を入れておられ、給食の献立の具材の栄養についても子どもたちにわかりやすく教えておられました。子どもたちにごく自然と野菜などの栄養についても伝えておられる姿には感動もしました。

この10日間の保育所実習で学ばせていただいたことは沢山あり、私自身も実習園の先生方のように、一人ひとりの子どもたちに寄り添える保育者になりたいという思いがさらに強くなりました。



ビジネスコミュニケーション学科 学外実習報告

■ 医療秘書実習報告

ビジネスコミュニケーション学科 学科長 沖山 圭子

ビジネスコミュニケーション学科では、日本医師会認定医療秘書をめざす医療事務コースの2回生が、毎年夏休みに病院実習を行っています。例年は、大津市民病院、大津赤十字病院、JCHO滋賀病院、彦根中央病院に分かれて行っていましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、学内での実習に切り替え、9月8～10日に実施しました。

初日は研修形式での実習です。研修1「病院組織・施設、公費負担医療」、研修2「医療安全と感染症対策」を、学内教員を講師として実施。医療安全と感染症対策については、本学の堀池先生に医師の立場から臨床現場で医療秘書が知っておくべき知識と心構えについて講義していただきました。

研修3は、静岡県をはじめ全国で医療クランク育成に尽力されている浜松医科大学教授の小林利彦先生による「医療クランクに求められるもの、これからの医療秘書」と題したご講演です。オンライン授業の経験を活かしてZOOMで浜松医科大学と中継し、まるで目の前で話していただいているような臨場感あふれる研修となりました。医師事務作業補助者の役割や、これから期待される業務や必要な知識・能力を医師の立場からお話いただき、普段の授業とはまた違った良い刺激となりました。

研修4は「医療保険制度の変遷とこれからの医療制度」をテーマに、感染予防対策を徹底した上でグループワークを実施し、活発な討議と発表が行われました。

2・3日目は実技関係の実習です。本学の医療秘書実習室（模擬医療機関）において、「受付業務と会計業務」「診療補助業務」「患者対応、身障者介助」の実技実習を行いました。受付、会計、診療補助、医師、患者、クランクに役割を分担し、それぞれの立場でロールプレイを行い、診療業務を模擬体験する実習です。受付では保険証の確認・初診患者様への声掛け・問診表の記入説明・診療録作成を行い、診察室では診療補助のクランクが患者の呼び込みを行い、医師役の学生が診察内容をカルテに書き込んだり（あらかじめ作成したシールを使用）オーダーを行い、会計では診察が済んだカルテから医療費を計算し領収書・明細書を印刷し一部負担金を徴収する等、実際の診察を想定した動きを体験することができました。

言葉遣いや立ち居振る舞いの指導は秘書学の教員から助言やアドバイスをを受け、感じの良い対応について具体的に学ぶことができました。また、診察の流れや、保険の確認事項、カルテの作成、患者様を呼ぶタイミング等は医療秘書経験のある教員より具体的なアドバイスや指導があり、教室での座学とは違った難しさと楽しさを経験することができました。この実習を通して、患者様に寄り添う大切さを学ぶ貴重な経験になったと思います。

今年度の病院実習は、コロナ禍でやむを得ず学内実習となりましたが、工夫を凝らして有意義な内容になりました。来年度は病院での実習ができることを願っています。



研修3



研修4



模擬診療所



身障者介助

純美禮祭を終えて 心の花 — violet

学生自治会 会長 吉田 亜利紗



第51回純美禮祭が12月18日(金)に行われました。今年度はコロナ禍の中で、本当に開催できるのか、開催してもいいのか大変悩みました。5月から実行委員の皆で話し合いを重ねる中で「どうしても開催したい」「少しでも思い出に残る学園祭にしたい」という思いが強くなりました。学生の皆さんも思いは同じで、開催についてのアンケートをしたところ、三分の二以上の賛同を得ることができました。

今回は、感染対策を十分に行い安全で安心な純美禮祭にするため、学内のみでの開催となりました。感染症対策のために新たな企画を考えたり例年はなかった制限をかけたりと、探り探りの準備でした。何度も開催が危ぶまれましたが、参加した学生の皆さんの楽しそうな顔を見て、やり遂げることができた喜びと充実感でいっぱいです。

当日はエフエム滋賀さんのご協力もあり、予想以上の盛り上がりでした。今年はステージゲストとして吉本芸人の「さや香さん」と「コウテイさん」が出演してくださいました。感染症の状況を踏まえてリモートでの出演になりましたが、学生からのたくさんの質問にも答えてくださり会場は一体感に包まれました。また、学生の熱も目を見張るものがありました。特に各教室での模擬店は飲食販売禁止の制限を乗り越えて、「射的」や「輪投げ」などみんなが楽しめるようそれぞれに工夫されており、たくさんの学生が楽しんでいました。

メインステージでは、ゼミ対抗ゲームや仮装コンテスト、イントロあてクイズなど全員が楽しめる企画を実行委員で考え、参加型の純美禮祭になるように盛り上げました。ビンゴ大会を終えて実行委員みんなで最後の挨拶をした際には、学生の皆さんから「ありがとう」の声や大きな拍手をいただきました。この時は本当に心から幸せな気持ちに包まれました。

今回の純美禮祭を開催するにあたりご協力くださいました滋賀短期大学後援会の皆様、多忙な中たくさんのサポートをしてくださった教職員の皆様、盛り上げてくれた学生の皆さん、本当にありがとうございました。そして一緒にがんばってくれた純美禮祭実行委員の皆さん、本当にお疲れさまでした。携わってくださったすべての方々に感謝いたします。

私たち自治会役員2回生は純美禮祭を最後に執行部としての役割を終えますが、達成感や皆さんに楽しんでいただけた嬉しさと共に寂しさも感じています。これまで私を支え成長させてくれたメンバーには感謝の気持ちでいっぱいです。例年よりも短い時間の中での準備となりましたが、1回生は私たちの背中を見ながらいろいろなことを学んでくれたと思います。来年はどのような形になるかわかりませんが、さらに盛り上がり楽しい純美禮祭が開催されることを期待しています。

創立50周年記念 絵本コンクールを開催

紀要・図書委員 特任教授 永久 欣也

毎年、本学図書館が主催して実施している絵本コンクール。普段は高校生のみを対象として作品を募集していますが、今回は創立50周年を記念して、一般の方をも応募対象として、一般部門と高校生部門との二本立てで作品を募集いたしました。

また、今回はその審査委員の一人として、従来の本学関係者だけではなく、滋賀県在住の絵本作家で、『うそうそかわうそのむかしばなし』や『ねーねのしっぽ』等の作品で著名な「はやしすみ」先生にも御来校をいただき、最終審査に関わっていただきました。

コロナ禍の中での実施や、応募要項の案内が当初の予定よりも遅れたこともあり、応募作品の集まりに若干の不安がありましたが、「月刊公募ガイド」編集部の協力もあり、一般部門では地元滋賀県はもとより、北海道・埼玉・千葉・東京・岐阜・三重といったところからの個人応募や大阪の大学短大部保育関係学科の学生さんたちからの応募がありました。高校生部門でも本学附属高校をはじめとして、滋賀県下の公立高校や京都府の公立高校や私立高校からも多くの作品が寄せられました。

募集期間は10月1日から11月30日までの2か月間という短い間ではありましたが、一般と高校の両部門を合わせて総数140点ばかりの作品の応募があり、いずれも甲乙つけがたい力作ばかりでした。

審査の方は大教室の机の上にならべられた作品を前に、本学図書館長の深尾秀一先生を中心に一次審査を実施、途中からは秋山元秀学長も加わってくださり、応募作品の多さや力作揃いに感心をされていました。その多くの作品の中から一般、高校部門共に15点ばかりを選び出し、最終審査へと進めることにいたしました。

最終審査は12月25日に行い、はやしすみ先生が一点一点を丁寧に読み比べながら評価をしてくださいましたが、どれも力作ばかりで選定するのが難しかったとのコメントをいただきました。

各賞については、全部門から最優秀賞が1名。優秀賞が各部門から1名ずつ。佳作も各部門から1名となっており、入賞者については1月15日に本学HPにおいて発表させていただきました。



※絵本作家 はやし すみ氏による外部審査風景

令和2年度 附属高等学校「実践講座」(高大連携講座)

紀要・図書委員 特任教授 堀池 喜八郎

高等学校-大学連携事業の一つとして、滋賀短期大学附属高等学校の生徒を対象とした「実践講座」(高大連携講座)を今年度(令和2年度)も開講しました。

今回は、新型コロナウイルスのパンデミックな感染拡大の影響を受け、その感染予防のため、昨年度までとは実施の時期・回数・方法などを大幅に変更しました。

実施の時期は前期と後期(4月～11月)の予定でありましたが、開講を後期に延期して9月～11月に実施しました。回数は、生活学科・幼児教育保育学科・ビジネスコミュニケーション学科の3学科とも、15回予定の約半分の7回にして、1回あたりの時間は10分ふやし100分授業としました(木曜日13:20-15:00)。授業形態は講義や演習/実験、あるいはそれらの併用です。担当した教員の数はいは21名でした。

さらに3密(3つの密=密閉・密集・密接)をさけるため、教室の換気を行いながら、座席間隔は十分にとって、全員マスクをつけて、授業を行いました。

受講生の人数は、生活学科で19名、幼児教育保育学科で26名、ビジネスコミュニケーション学科で13名、合計58名でした。生徒の皆さんは熱心に参加されていました。

今回はコロナウイルス感染予防のためのいろいろな制限があるなかで、安全に「実践講座」を実施するために、関係の多くの方々で周到な準備をされました。その結果、例年と変わらない有意義な高大連携講座が実施できたと思います。



学校法人純美禮学園の令和元年度決算・財務状況報告について

学校法人純美禮学園の令和元年度決算は、公認会計士の監査、学園監事の監査、理事会・評議員会の承認を経て、確定いたしましたので報告いたします。

事業活動収支計算書は、当該会計年度の各事業活動における収支の内容及び均衡の状態を明らかにし、貸借対照表は、本学園の年度末の資産状況を明らかにするものであります。

令和元年度決算報告について

事業活動収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位千円)

		科 目	決 算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,051,493
		手数料	34,610
		寄附金	12,125
		経常費等補助金	413,584
		付随事業収入	5,652
		雑収入	58,823
		教育活動収入計	1,576,287
	事業活動支出の部	科 目	決 算
		人件費	1,124,294
		内：退職給与引当	35,114
		教育研究経費	431,132
		内：減価償却	165,175
		管理経費	134,355
		内：減価償却	5,076
		徴収不能額等	1,170
		教育活動支出計	1,690,951
		教育活動収支差額	△ 114,664
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	決 算
		受取利息・配当金	34,047
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	34,047
	事業活動支出の部	科 目	決 算
		借入金等利息	3,935
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	3,935
		教育活動外収支差額	30,112
特別収支	収入の部	科 目	決 算
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	270,346
		特別収入計	270,346
	支出の部	科 目	決 算
		資産処分差額	2,733
		その他の特別支出	16,300
		特別支出計	19,033
		特別収支差額	251,313
		基本金組入前当年度収支差額	166,761
		基本金組入額合計	△ 353,281
		当年度収支差額	△ 186,520
		前年度繰越収支差額	△ 1,511,064
		基本金取崩額	47,608
		翌年度繰越収支差額	△ 1,649,976
		(参考)	
		事業活動収入計	1,880,680
		事業活動支出計	1,713,919

貸借対照表

令和2年3月31日

(単位千円)

	科 目	本年度末
資産の部	固定資産	(5,628,578)
	有形固定資産	4,288,049
	土地	369,348
	建物	2,904,133
	構築物	283,304
	教育研究用機器備品	395,980
	管理用機器備品	47,991
	図書	279,570
	車両	7,723
	特定資産	1,337,674
	第3号基本金引当特定資産	371,277
	退職給与引当特定資産	115,073
	減価償却引当特定資産	816,576
	住宅貸付引当特定資産	34,748
	その他の固定資産	2,855
	施設利用権	2,109
	電話加入権	646
	保証金	100
	流動資産	(663,613)
	現金預金	310,911
負債の部	未収入金	350,419
	貯蔵品	138
	前払金	2,145
	資産の部合計	6,292,191
	固定負債	(1,102,373)
	長期借入金	800,000
	退職給与引当金	302,373
	流動負債	(339,169)
	短期借入金	13,870
	未払金	88,648
純資産の部	前受金	212,340
	預り金	24,311
	負債の部合計	1,441,542
	基本金	(6,500,625)
	第1号基本金	6,014,348
	第3号基本金	371,277
	第4号基本金	115,000
繰越収支差額	繰越収支差額	(△ 1,649,976)
	翌年度繰越収支差額	△ 1,649,976
	純資産の部合計	4,850,649
負債及び純資産の部合計		6,292,191

保健室だより



コロナ禍だからこそ、相談室の利用を！

学務課(保健室) 鈴木 万里絵

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、楽しみにしていた行事の中止、友人に会う機会の減少、アルバイトの収入減など、気分的に落ち込むことも多かったと思います。感染症の流行によりストレスを感じることは当然の反応ですが、蓄積されると、以下のような症状が出てくる場合があります。

下記のような症状が出るまで放置せず、ぜひ相談室を利用しましょう。

心と体は繋がっています。悩み事は放置せず、専門家に聞いてもらい、心身共に健康で過ごすことが学生生活において不可欠です。学業に関すること以外でも、友人、恋愛、アルバイト先でのことなど、色々なことが相談できます。相談したことがなくて不安な方も、気軽に利用してみてください。誰かに自分の話を聞いてもらうこと、自分の心を整理することはとても大切です。また、あなたのプライバシーは必ず守られますのでご安心ください。

【身体面】

- だるさ・身体虚弱 ● 吐き気・嘔吐
- 胸部の痛み、動悸 ● めまい ● 筋肉のふるえ
- 呼吸困難 ● のどが渇きやすい ● 頭痛 ● 視力障害
- 歯ぎしり ● 睡眠障害 ● 食欲低下 ● 便秘・下痢
- 異常な発熱 ● 肩こりなど

【精神面】

- 不安 ● イライラ感 ● 感情鈍麻 ● 集中力の低下
- 判断・決断力の低下 ● 注意力の低下
- 思考が乱れ、混乱する ● 問題解決能力の低下など

学内学生相談室の利用方法

予約窓口	学務課または保健室
カウンセラー在席日時	水曜：10時～16時、金曜：11時～17時 ※上記以外の日も相談可能です。

学外の相談窓口

新型コロナウイルス感染症に関わる心のケアに関する自治体窓口

滋賀県 精神保健福祉センター

【電 話】077-567-5010

【U R L】<http://www.pref.shiga.lg.jp/seishinhoken/soudan/300917.html>

【相談時間】平日(年末年始、祝日を除く)9:00～16:00

【来 所】可能(事前予約制)

参考：第2章 心のケア 各論：文部科学省 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/003/010/003.htm

寄付報告

滋賀短期大学 創立50周年記念募金

【募集期間 令和元年12月1日～令和3年3月31日】

期間総額 17,492,000円

内訳 法人 8件 13,340,000円
個人 88件 4,152,000円

前回学報No.87号掲載以降(令和2年5月23日～令和3年2月15日の間)にご寄付いただきました方々を掲載させていただき、感謝の意を表します。誠にありがとうございます。

(7,530,000円) 滋賀短期大学後援会様

(5,000,000円) 滋賀短期大学同窓会様

(200,000円) 秋山 元秀様、井上 清久様

(100,000円) 大伴 嘉彦様、中平 真由巳様、中村 治重様、堀池 喜八郎様

(50,000円) ソレキア株式会社様、株式会社モーリス様、高田 伸子様、永久 欣也様、匿名の方1名

(22,000円) 松岡 佑樹様

(10,000円) 株式会社清原織物様、藤崎 洋子様、匿名の方1名

(5,000円) 居合 妙子様、奥村 睦子様、木山 徳子様、中井 美紀子様、山口 直美様、匿名の方3名

人事異動

採用

(令和2年5月7日付)

総務課 嘱託職員 吉野 みずほ

(令和2年8月1日付)

生活学科 ライフデザインコース 非常勤職員 川崎 響子

ノートパソコン必携化について

本年度の新型コロナウイルス感染予防の授業経験を活かしつつ、更なる教育の質の向上を図ることを目的とし、令和3年度入学生から、本学での学習に対応できる指定のノートパソコン必携化を決定いたしました。

現在は、食堂や学生ホールに限りWi-Fiの使用が可能ですが、令和3年3月までに全教室においてWi-Fiが使用できるように施設を整備いたします。

今後、各学科においてノートパソコンを使用した授業、レポートや課題提出、履修登録、就職活動等の場面が増えていきます。



短期大学行事等開催状況(令和2年6月～令和3年1月)

(総務課掌握の一部を掲載しています。短大事務局)

6月

- 1日(月) 対面授業を開始
- 6日(土) Word2016スペシャリスト対策講座
- 7日(日) オープンキャンパス
- 11日(木) 就職支援講座(幼教)
- 18日(木) 就職支援講座(幼教)・(生活・ビジ:YouTube配信)
- 21・28日(日) Excel2016スペシャリスト対策講座

7月

- 4・5日(土・日) オープンキャンパス
- 9日(木) 就職支援講座(幼教)・(生活・ビジ:YouTube配信)
- 12日(日) 公務員模試、Excel2016スペシャリスト対策講座
- 18・19日(土・日) Excel2016スペシャリスト対策講座
- 19日(日) 総合型選抜I期事前相談日
- 23日(木) 就職支援講座(幼教)・(生活・ビジ:YouTube配信)
- 30日(木) 就職支援講座(幼教)・(生活・ビジ:YouTube配信)

8月

- 2日(日) オープンキャンパス
- 6日(木) I回生教務オリエンテーション
- 18日(火) 地域移動講座in長浜市
- 19日(水) 総合型選抜II期事前相談日
- 22・23日(土・日) オープンキャンパス
- 24日(月) 前期定期試験(8月28日まで)
- 29日(土) 夏季休業(集中講義)(9月27日まで)

9月

- 6日(日) オープンキャンパス
- 8日(火) 医療事務学内実習(9月10日まで)
- 10・17日(木) すみれ基礎講座
- 19日(土) 総合型選抜III期事前相談日
- 23日(水) I・II教務オリエンテーション、前期成績交付
- 24・25日(木・金) 前期再試験、すみれ基礎講座
- 28日(月) 後期授業開始

10月

- 1日(木) 就職支援講座(生活・幼教)、すみれ基礎講座
- 8日(木) I回生人権学習
- 15・22日(木) すみれ基礎講座
- 25日(日) 総合型選抜・学校推薦型選抜A(併設校)・学校推薦型SI期・外国人留学生特別選抜入試
- 29日(木) 就職支援講座
- 31日(土) 教育懇談会

11月

- 5日(木) すみれ基礎講座
- 12日(木) 就職支援講座(生活・幼教)
- 14日(土) Word2016スペシャリスト対策講座
- 21日(土) 学校推薦型選抜A・学校推薦型選抜B前期(指定校)・外国人留学生特別選抜入試
- 26日(木) 就職支援講座(生活・幼教)
- 28日(土) Word2016スペシャリスト対策講座

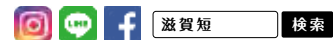
12月

- 3日(木) 就職支援講座(幼教)、教職員人権研修
- 5日(土) Word2016スペシャリスト対策講座
- 10日(木) 就職支援講座(生活・幼教)
- 12日(土) オープンキャンパス、Word2016スペシャリスト対策講座
- 13日(日) 栄養士実力認定試験
- 17日(木) 就職支援講座(幼教)
- 18日(金) 純美禮祭(授業休止)
- 19日(土) 学校推薦型選抜B後期・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜入試
- 20日(日) フードスペシャリスト資格認定試験
- 24日(木) 就職支援講座(生活・幼教)
- 25日(金) 冬季休業(1月3日まで)

1月

- 4日(月) 授業開始
- 9日(土) 専門演習発表会
- 14日(木) 就職支援講座(生活・幼教)
- 20・21日(水・木) 補講日
- 25日(月) 後期定期試験(1月29日まで)
- 31日(日) 社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜入試

オープンキャンパス



受験生の方を対象にしたオープンキャンパスです。就職にも編入学にも強い滋賀短大の理由をお伝えします!

2021

3月20日(土) 4月24日(土) 5月9日(日) 5月15日(土)
6月6日(日) 7月3日(土) 7月4日(日)
8月1日(日) 8月21日(土) 9月5日(日)
12月11日(土)

2022

2月12日(土) 3月25日(金)

※日程は変更になる場合があります。

滋賀短期大学の最新情報は
ホームページで!
開催時間など詳細・予約は
本学Webサイトで
ご確認ください。



大学案内やWebサイトでは
お伝えきれない

滋賀短期大学の魅力をぜひ感じてください!!



2020年度に開催したオープンキャンパスの様子

お問い合わせ 077-524-3848(入試広報課)